

災 害 の 概 況

(平成20年)



(境港消防署水難救助隊発足10周年記念式典・展示訓練)

鳥 取 県 西 部 広 域 行 政 管 理 組 合
消 防 局

目 次

(ページ数)

災害概況のまとめ	1
I 火災概況	2
1 出火状況	2
2 出火原因	3
3 死者、負傷者	3
別図 I - 1 火災件数の推移	3
別図 I - 2 火災種別ごとの件数と構成比率	3
別図 I - 3 月別の火災件数	4
別図 I - 4 市町村別火災件数の構成比率	4
別図 I - 5 経過別死者発生状況	5
別図 I - 6 経過別負傷者発生状況	5
別表 I - 1 平成20年の火災の概況	6
別表 I - 2 月別火災発生状況	7
別表 I - 3 市町村別火災状況	8
別表 I - 4 出火原因別火災発生概況	9
別表 I - 5 過去10年間の火災発生状況	10
II 救急概況	11
1 救急出動件数、救急搬送状況	11
2 市町村別救急活動状況	11
3 傷病程度別搬送状況	11
4 年齢別搬送状況	11
5 署所別救急活動状況	11
6 月別救急活動状況	11
7 現場到着所要時間、収容所要時間	11
8 応急手当実施状況	11
9 高度救命処置状況	11
10 救急講習件数の推移	11
別図 II - 1 事故種別救急出動状況	12
別図 II - 2 事故種別救急搬送状況	12
別図 II - 3 過去5年間の救急推移	13
別図 II - 4 市町村別救急活動状況	13
別図 II - 5 傷病程度別搬送状況	14
別図 II - 6 年齢別搬送状況	14
別図 II - 7 署所別救急活動状況	15
別図 II - 8 月別救急活動状況	15

別図Ⅱ－ 9	現場到着所要時間	16
別図Ⅱ－10	収容所要時間	16
別図Ⅱ－11	応急手当実施状況	17
別図Ⅱ－12	高度救命処置状況	17
別図Ⅱ－13	過去5年間の救急講習件数推移	18
別図Ⅱ－14	過去5年間の救急講習人員推移	18
別図Ⅱ－15	応急手当指導員・普及員の養成	18
Ⅲ	救助概況	19
1	事故種別救助出動状況	19
2	事故種別救助活動状況	19
3	事故種別救助人員状況	19
4	管轄別救助活動状況	19
5	市町村別救助活動状況	19
6	月別救助活動状況	19
別図Ⅲ－ 1	事故種別救助出動状況	20
別図Ⅲ－ 2	事故種別救助活動状況	20
別図Ⅲ－ 3	事故種別救助人員状況	21
別図Ⅲ－ 4	管轄別救助活動状況	21
別図Ⅲ－ 5	市町村別救助活動状況	22
別図Ⅲ－ 6	月別救助活動状況	22
Ⅳ	119番着信概況	23
1	概況	23
2	月別の着信状況	23
3	時間帯別119番通報の着信状況	23
4	携帯電話からの着信状況	23
5	電話種別による通報状況	24
別表Ⅳ－ 1	119番着信件数の推移	24
別表Ⅳ－ 2	月別119番着信状況	24
別表Ⅳ－ 3	電話種別による119番着信件数の推移	25
別表Ⅳ－ 4	電話種別毎の通報状況	25
別表Ⅳ－ 5	携帯電話からの着信状況	25
別表Ⅳ－ 6	携帯電話の消防機関別転送状況	26
別図Ⅳ－ 1	通報内容別着信状況	26
別図Ⅳ－ 2	月別着信状況	27
別図Ⅳ－ 3	電話種別毎の着信比率の推移	27
別図Ⅳ－ 4	時間帯別着信件数の推移	28
別図Ⅳ－ 5	電話種別による通報状況	28

災害概況のまとめ

(平成20年1月～12月)

※注：以下の（ ）内の増減数値は、昨年比を示します。

I 火災概況

平成20年中の火災件数は103件で、前年に比べ7件(-6.4%)少なくなっています。しかし、焼損面積、損害額については、8月と12月に大規模建物火災が発生したこと、また10月に商品を満載した大型トラックが全焼したことから前年を大きく上回る結果となっています。

死者は7人で、前年より1人(+16.7%)多くなっています。このうち、65歳以上の高齢者は5人で、全体の半数以上を占めていることから、住宅用防災機器の早期設置など、高齢化社会に対応した防火対策の更なる推進が急務となっています。

出火原因は、昨年同様「放火(放火の疑い含む)」が第1位となっています。全国的にも、常に出火原因の第1位であることから、家庭での放火対策はもちろんのこと、地域全体での放火対策の取り組みが求められる時代になっています。

II 救急概況

救急出動件数は8,489件(311件の減・-3.5%)で、救急搬送人数は7,974人(312人の減・-3.8%)で、2年連続の減少となっています。

事故種別ごとの出動件数は、急病が5,057件(59.6%)と半数以上を占め、次いで一般負傷1,087件(12.8%)、転院搬送1,053件(12.4%)、交通事故860件(10.1%)の順となっています。

年齢別の搬送人数は、65歳以上の高齢者が4,458人(55.9%)と全搬送人数に占める割合が年々増加しています。今後、少子高齢化の進展に伴い更に割合が増加することが予測されます。

心肺停止傷病者に対して、家族等による応急手当の割合が49%(+5%)と増加しています。救急現場での早期の応急手当が救命のチャンスを拡大しますので、住民への心肺蘇生法の普及やAEDの設置が不可欠です。

III 救助概要

救助出動件数は163件(6件の増・+3.8%)、救助活動件数は126件(18件の増・+16.7%)となっています。また、救助人員は81人(4人の減・-4.7%)で、事故種別毎の救助人員を見ると、交通事故が最も多く54人(9人の減・-14.3%)、次いでその他10人(3人の減・-23.1%)、水難事故9人(5人の増・+125.0%)の順となっています。

地震や列車、航空機事故などの大規模災害時には、県内外の消防機関、医療機関、防災機関、国、県、市町村などの防災体制強化、連携活動が必要不可欠となっています。

IV 119番着信状況概要

総着信件数は11,817件(346件の減・-2.8%)でした。平成17年をピークに減少傾向となっています。この内固定電話(IP電話を含む)が8,643件(404件の減・-4.5%)、また、携帯電話による通報件数は3,174件(58件の増・+1.9%)となっています。問い合わせや悪戯等を除く災害通報は8,514件で、このうち固定電話(IP電話を含む)が6,388件(75.0%)、携帯電話が2,126件(25.0%)となっています。また、事故種別ごとの携帯電話の占める割合は、火災通報が43.8%、救急通報が23.8%、救助通報が67.9%、警戒通報が53.3%となっています。携帯電話からの通報時に、発信された位置情報を取り込む「携帯電話の位置情報通知システム」を導入しました。正確な位置情報を発信できるGPS機能付き携帯電話の普及に伴い、迅速な地点決定に効果を発揮しています。

I 火災概況

(平成20年1月～12月)

1 火災状況

(1) 火災件数

平成20年中の火災件数は103件で、前年に比べ7件(6.4%)少なくなっています。

(別表I-1. 別表I-5. 別図I-1参照)

(2) 火災種別

種別ごとの構成比をみますと、建物火災が全体の59.2%を占め、次いでその他火災24.3%、車両火災13.6%、林野火災2.9%の順となっています。

(別表I-1. 別図I-2参照)

(3) 月別

月別の火災件数をみますと、4月、7月、10月が最も多く14件、次いで5月と8月の11件、3月と11月の8件となっています。

種別ごとの火災発生状況をみますと、建物火災と林野火災は4月(9件と2件)、車両火災は7月と10月(各3件)、その他火災は5月(7件)に最も多く発生しています。

また、死者は1月(3人)、負傷者は10月(2人)に多く発生しています。

(別表I-2. 別図I-3参照)

(4) 市町村別

市町村別の火災件数をみますと、米子市が最も多く47件、次いで境港市の23件、大山町の12件となっています。

なお、日吉津村は平成18年5月以降、日野町は平成19年6月以降、火災の発生はありません。

(別表I-3. 別図I-4参照)

(5) 損害額

損害額は5億8,780万円で、前年(9,291万円)に比べ、4億9,489万円多くなっています。

種別ごとでは、建物火災が5億5,827万円で全体の95.0%を、月別では8月の2億9,815万円が全体の50.7%を占めています。

(別表I-1. 別表I-2参照)

2 出火原因

出火原因の第1位は「放火(疑い含む)」で19件、次いで「こんろ」と「たき火」10件、「火あそび」8件の順となっています。

(別表I-4参照)

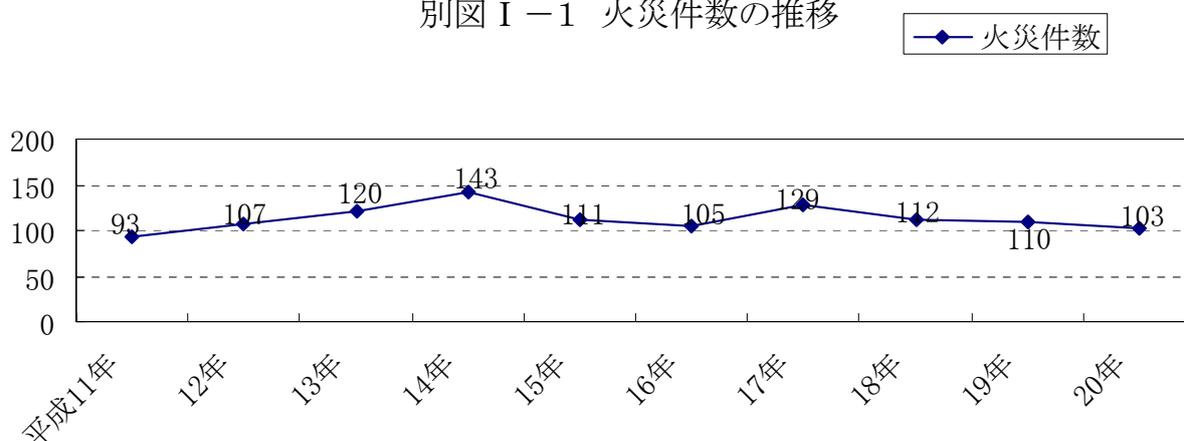
3 死者・負傷者

死者は7人で、前年(6人)より1人多く、逆に、負傷者は5人少ない9人となっています。

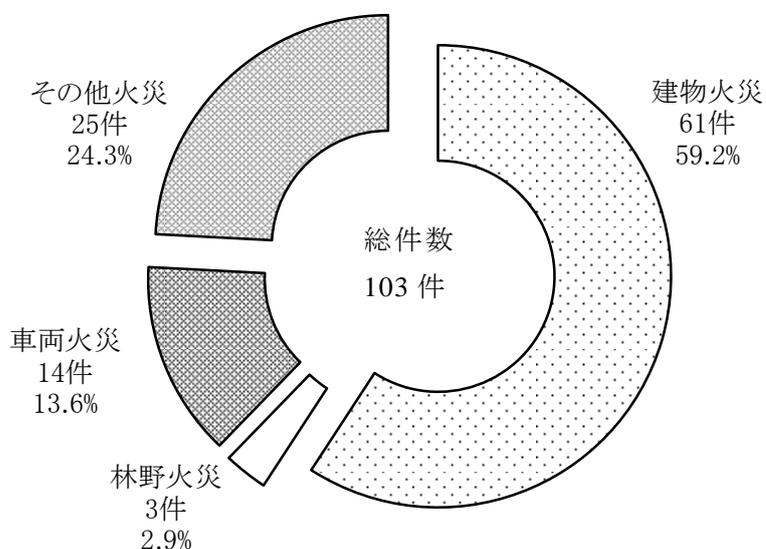
死者の発生経過をみますと、7人中4人が「逃げ遅れ」によるものです。また、負傷者は消火しようとした際に多く発生しています。

(別表I-1. 別図I-5. 別図I-6参照)

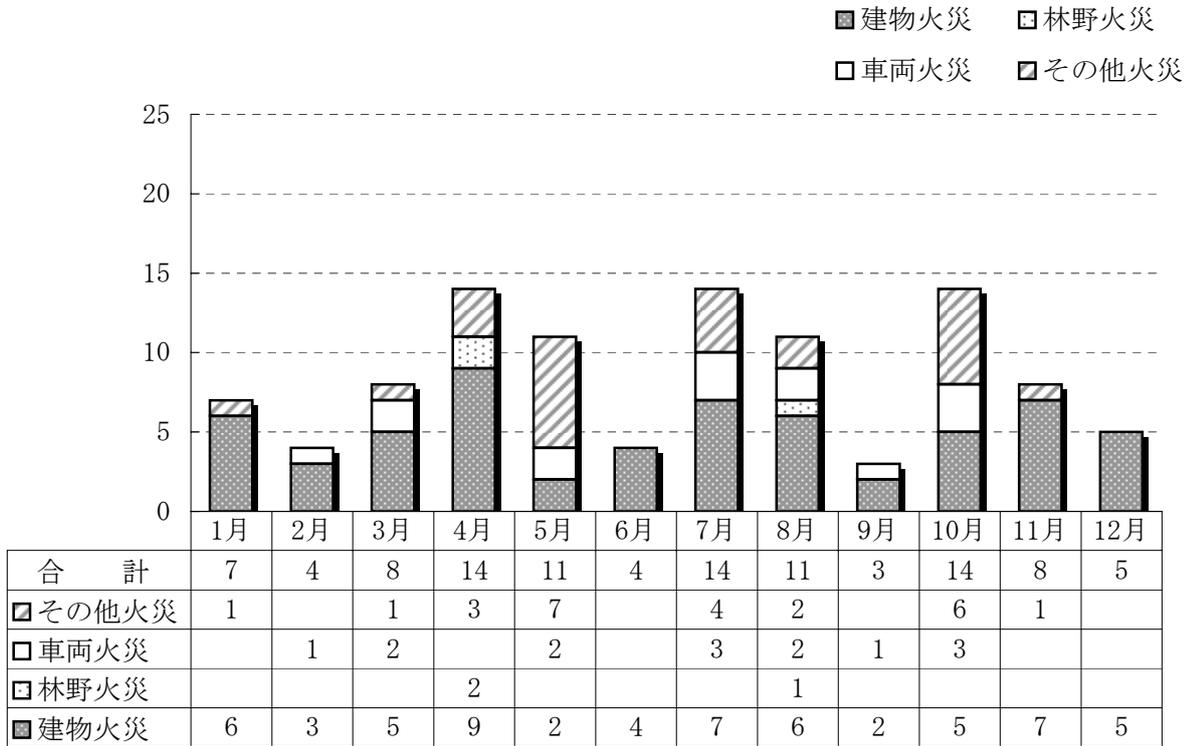
別図I-1 火災件数の推移



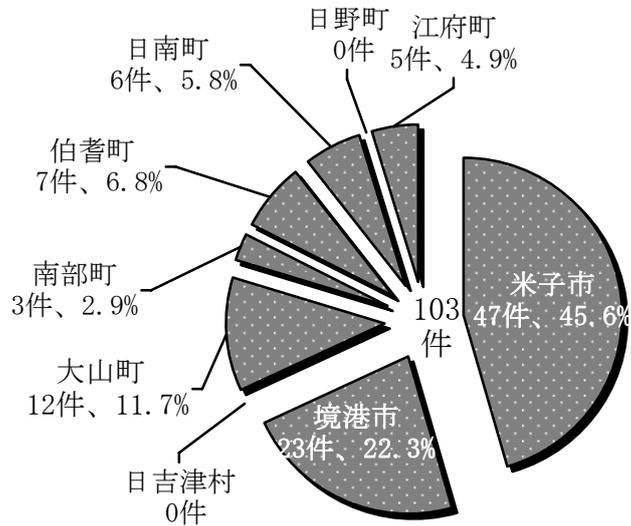
別図I-2 火災種別ごとの件数と構成比率



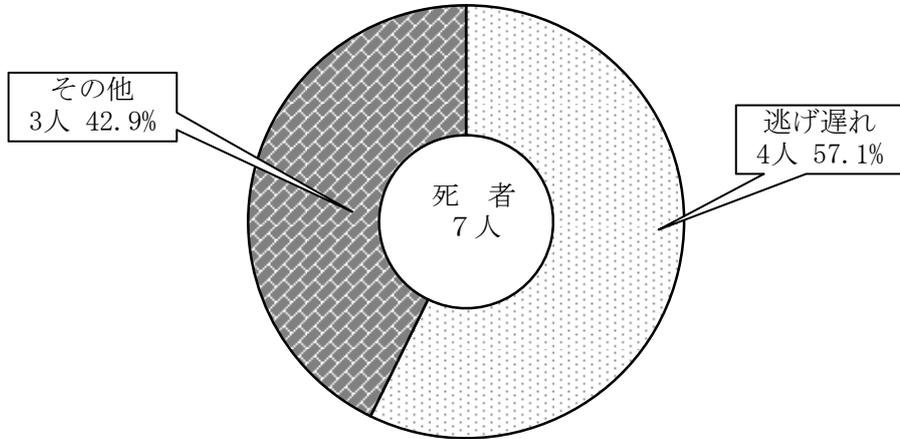
別図 I - 3 月別の火災件数



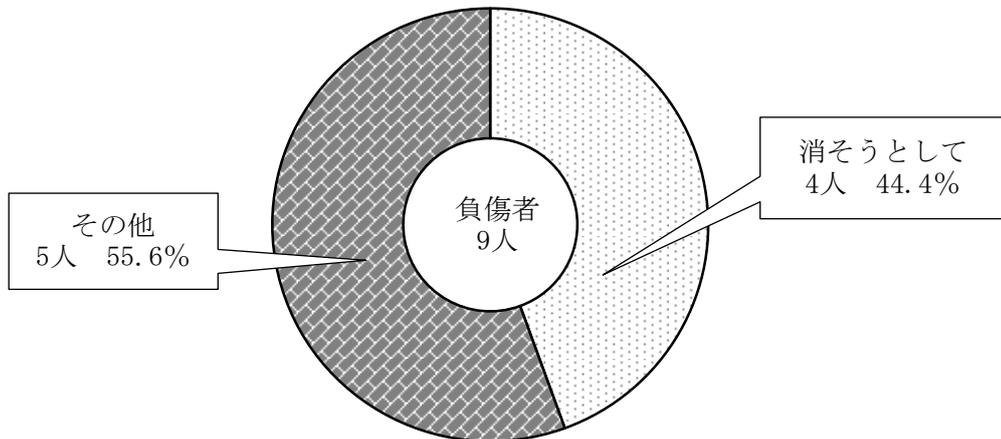
別図 I - 4 市町村別火災件数の構成比率



別図 I - 5 経過別死者発生状況



別図 I - 6 経過別負傷者発生状況



別表 I - 1 平成 20 年の火災の概況

区 分	平成 20 年 A	平成 19 年 B	増 減 C (A-B)	増 減 率 C/B (%)	
火災件数(件)	103 (100%)	110 (100%)	-7	-6.4%	
建物火災	61 (59.2%)	65 (59.1%)	-4	-6.2%	
林野火災	3 (2.9%)	5 (4.5%)	-2	-40.0%	
車両火災	14 (13.6%)	9 (8.2%)	5	55.6%	
船舶火災	()	()			
その他火災	25 (24.3%)	31 (28.2%)	-6	-19.4%	
焼損棟数(棟)	88 (100%)	74 (100%)	14	18.9%	
全 焼	29 (33.0%)	17 (23.0%)	12	70.6%	
半 焼	3 (3.4%)	6 (8.1%)	-3	-50.0%	
部 分 焼	30 (34.1%)	23 (31.1%)	7	30.4%	
ぼ や	26 (29.5%)	28 (37.8%)	-2	-7.1%	
罹災世帯数(世帯)	40 (100%)	33 (100%)	7	21.2%	
全 損	7 (17.5%)	7 (21.2%)	0		
半 損	()	5 (15.2%)	-5	-100.0%	
小 損	33 (82.5%)	21 (63.6%)	12	57.1%	
罹災人員(人)	135	91	44	48.4%	
焼損面積	建物(m ²)	3,889	2,305	1,584	68.7%
	林野(a)	2	48	-46	-95.8%
損害額(千円)	587,798	92,913	494,885	532.6%	
建物火災	558,269	89,856	468,413	521.3%	
林野火災	15	427	-412	-96.5%	
車両火災	28,639	2,324	26,315	1132.3%	
船舶火災					
その他火災	875	306	569	185.9%	
1件当り 損害額 (千円)	火災全体	5,707	845	4,862	575.4%
	建物火災	9,152	1,382	7,770	562.2%
1件当り 損害面積	建物(m ²)	64	35	29	82.9%
	林野(a)	1	10	-9	-90.0%
死者(人)	7	6	1	16.7%	
負傷者(人)	9	14	-5	-35.7%	
出火率(人口1万人当り)	4.16	4.44	-0.28	-6.3%	

備考 () 内は構成比を示す。なお、損害額については概数

別表 I - 2 月別火災発生状況

	合計		建物火災		林野火災		車両火災		船舶火災		焼損棟数				死傷者	30日以内死亡			
	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	合計	全焼	半焼	部分焼			ぼや		
1月	7	15,250	6	15,250					1		9	3	3	3	3	3	19	3	
2月	4	648	3	519	32		1	129			3		3			2	13	1	
3月	8	10,742	5	10,578	148		2	164			7	2	1	3	1	4	16		
4月	14	8,576	9	8,576	425	2					14	4	6	4	4	7	19	1	
5月	11	1,733	2	1,721	108		2	12			8	4	2	2	2	2	3	1	
6月	4	9,583	4	9,583							4		1	3	2	2	8	1	
7月	14	10,002	7	7,993	185		3	2,003			10	3	3	4	4	5	11	1	
8月	11	298,149	6	298,088	1,275	15	2	43			9	4	3	2	4	4	17	1	
9月	3	25,478	2	25,440	259		1	38			2	2						1	
10月	14	55,598	5	29,330	123		3	26,250			7	3	1	1	2	2	6	2	
11月	8	6,199	7	5,351	269						8	1	1	3	3	3	12	1	
12月	5	145,840	5	145,840	623						7	3	2	2	2	3	11	1	
合計	103	587,798	61	558,269	3,889	15	14	28,639			88	29	3	30	26	40	135	7	9

別表 I - 3 市町村別火災状況

	火災件数				焼損面積		焼損棟数				り災世帯数			り災人員	死者	負傷者	30日以内死亡	損害額 (千円)		
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	床面積 ㎡	表面積 ㎡	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや						合計	全損
米子市	47	30		9		8	2,386	26	42	11	2	14	15	21	4		17	5	3	398,528
境港市	23	10			13		307	11	13	4		7	2	7	2		5	1		11,634
日吉津村																				
大山町	12	6	2	1		3	243	10	12	4		5	3	5	1		4	1	2	121,381
南部町	3	3					266	53	6	2		4		3			3			14,429
伯耆町	7	3		3		1	368		3	1	1		1	1			1	1	1	29,117
日南町	6	5	1				233	1	5	2			3	2			2	2	2	2,605
日野町																				
江府町	5	4		1			86	1	7	5			2	1			1	1	1	10,104
合計	103	61	3	14		25	3,889	102	88	29	3	30	26	40	7		33	7	9	587,798

別表 I - 4 出火原因別火災発生概況

原因別	出火件数							損害額（千円）	死者負傷者	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	死者	負傷者
合計	103	61	3	14			25	587,798	7	9
たばこ	4	4						1,965	1	
こんろ	10	9		1				9,744	1	2
かまど										
風呂かまど										
炉										
焼却炉	3						3	848		
ストーブ	2	2						181		1
こたつ										
ボイラー										
煙突・煙道	1	1						6		
排気管										
電気機器	3			3				148		
電気装置	2	1		1				954		
電灯・電話等の配線	3	3						279,908		
内燃機関										
配線器具	4	4						73,407	1	
火あそび	8	4					4	915		
マッチ・ライター	2	1		1				47		1
たき火	10	3	1	1			5	2,138		1
溶接機・切断機	2	1					1	300		
灯火	1	1						51		
衝突の火花										
取灰										
火入れ	3	1		1			1	1,512	1	1
放火	6	4		2				26,018		
放火の疑い	13	4					9	22,727		
その他	8	4		2			2	1,078		2
不明・調査中	18	14	2	2				165,851	3	1

別表 I -5 過去10年間の火災発生状況

区分	合計		建物火災			林野火災			車両火災		船舶火災		その他火災		焼損棟数				罹災世帯				死者	負傷者		
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	焼損面積 ㎡	件数	損害額 (千円)	焼損面積 a	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	全損	半損			小損	罹災人員 (人)
11年	93	404,896	61	401,903	5,393	4		319	10	1,691	2	718	16	584	94	35	7	27	25	57	19	4	34	197	5	15
12年	107	156,560	63	138,370	2,763	7		16	13	13,991	1	4,000	23	199	83	20	8	26	29	50	12	5	33	151	4	10
13年	120	232,096	63	200,616	3,416	5	5,207	199	21	21,315	1	4,500	30	458	88	26	7	29	26	55	13	5	37	195	6	11
14年	143	261,812	72	252,724	4,364	10	1,638	453	13	6,538			48	912	105	33	5	40	27	66	17	2	47	207	8	21
15年	111	145,855	73	143,834	3,875	2		6	14	1,588			22	433	99	23	11	37	28	62	17	10	35	191	9	23
16年	105	254,660	69	249,412	5,900	6	5	30	14	5,243			16		103	27	12	33	31	56	11	6	39	190	4	18
17年	129	360,219	82	349,437	8,124	5	563	136	17	9,689	1	200	24	330	160	55	19	38	48	101	39	13	49	267	10	19
18年	112	288,024	86	284,659	5,721	1			11	2,576			14	789	137	28	13	55	41	78	18	9	51	238	5	19
19年	110	92,913	65	89,856	2,305	5	427	48	9	2,324			31	306	74	17	6	23	28	33	7	5	21	91	6	14
20年	103	587,798	61	558,269	3,889	3	15	2	14	28,639			25	875	88	29	3	30	26	40	7		33	135	7	9

II 救急概況

(平成20年1月～12月)

1 救急出動件数、救急搬送状況

平成20年中の救急出動件数は、19年中に比べて311件減の8,489件、搬送人員は312人減の7,974人で、ともに2年連続の減少となりました。

(別図II-1、II-2、II-3参照)

2 市町村別救急活動状況

救急出動件数、救急搬送人員がともに減少傾向の中、前年に比べ日吉津村(9件・10人)及び日南町(48件・47人)では増加しました。

(別図II-4参照)

3 傷病程度別搬送状況

傷病程度別の搬送人員では、中等症が3,841人(48.2%)で最も多く、次いで軽症が2,851人(35.8%)となっています。

(別図II-5参照)

4 年齢別搬送状況

年齢別の搬送人員では、65歳以上の高齢者が4,458人(55.9%)と最も多く、割合は増加しました。

(別図II-6参照)

5 署所別救急活動状況

署所別では、米子消防署の出場件数及び搬送人員がそれぞれ2,906件(32.3%)、2,621人(32.9%)と最も多くなっています。

(別図II-7参照)

6 月別救急活動状況

月別の出場件数と搬送人員では、7月がそれぞれ820件(9.7%)、769人(9.6%)で最も多く、続いて1月の760件(9.0%)、721人(9.0%)となっています。

(別図II-8参照)

7 現場到着所要時間、収容所要時間

平均現場到着所要時間は7分09秒で昨年より21秒の延長、平均収容所要時間は33分46秒で昨年より1分8秒延長しました。

(別図II-9、II-10参照)

8 応急手当実施状況

心肺停止傷病者のうち家族等により応急手当を受けた人は、118人で、昨年より割合は増加しました。

(別図II-11参照)

9 高度救命処置状況

心肺停止傷病者243人のうち175人が救急救命士による高度救命処置を受け、そのうち23人に回復が見られました。

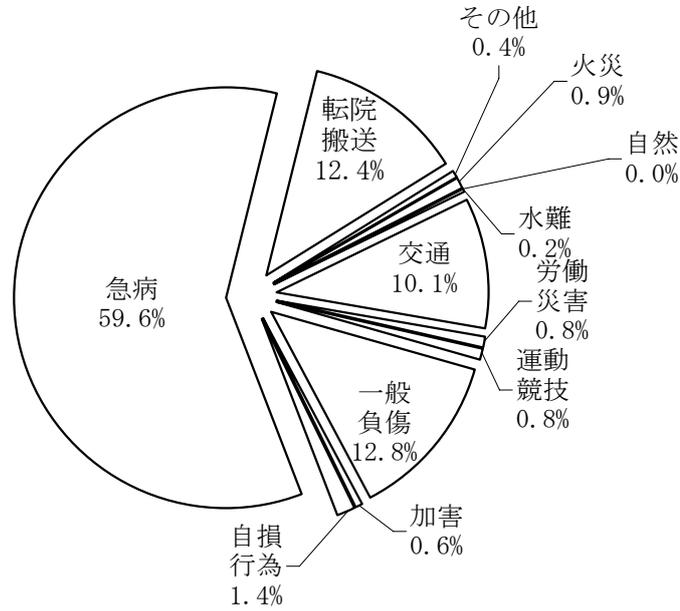
(別図II-12参照)

10 救急講習件数の推移

救急講習件数は、毎年10,000人以上の人が受講され、圏域住民の応急手当に対する意識の高さがうかがえます。

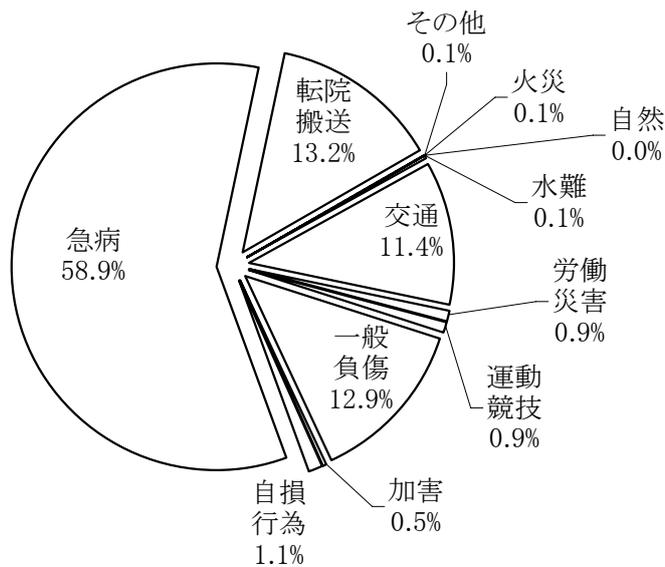
(別図II-13、II-14、II-15参照)

別図Ⅱ-1 事故種別救急出動状況



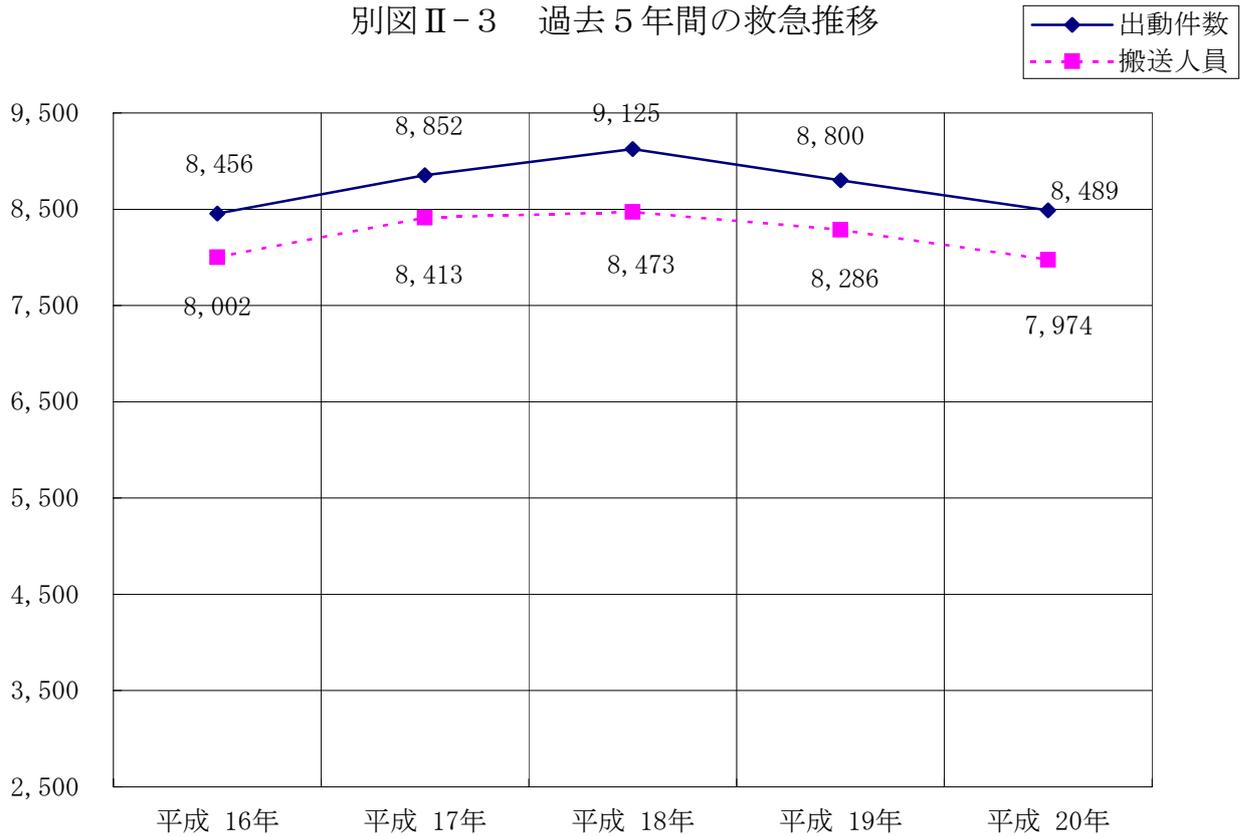
事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
出動件数	75	0	13	860	70	68	1,087	47	121	5,057	1,053	38	8,489

別図Ⅱ-2 事故種別救急搬送状況

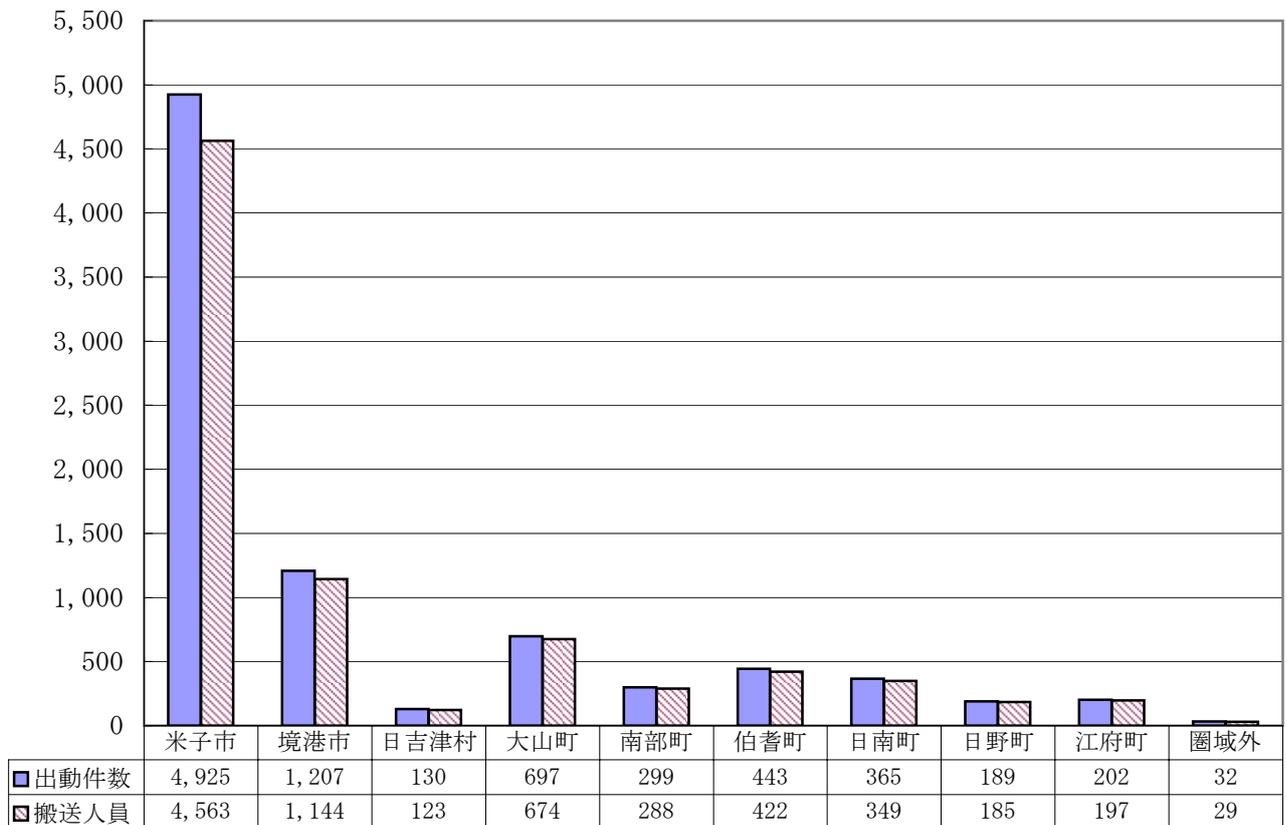


事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
搬送人員	9	0	8	911	71	70	1,026	41	89	4,695	1,050	4	7,974

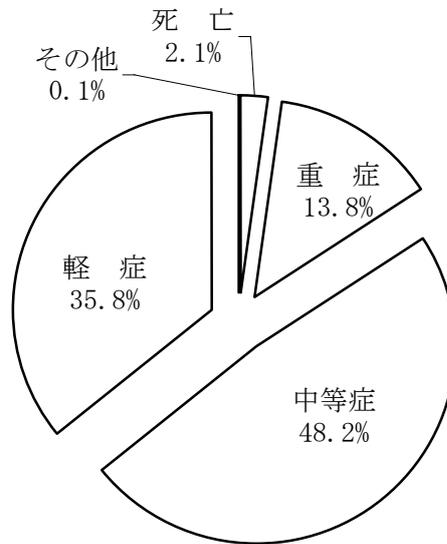
別図Ⅱ-3 過去5年間の救急推移



別図Ⅱ-4 市町村別救急活動状況

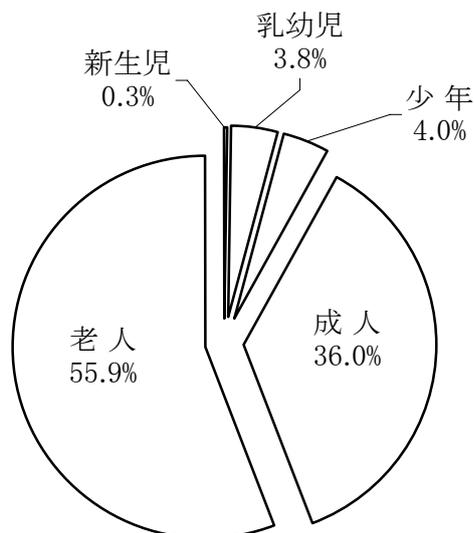


別図Ⅱ-5 傷病程度別搬送状況



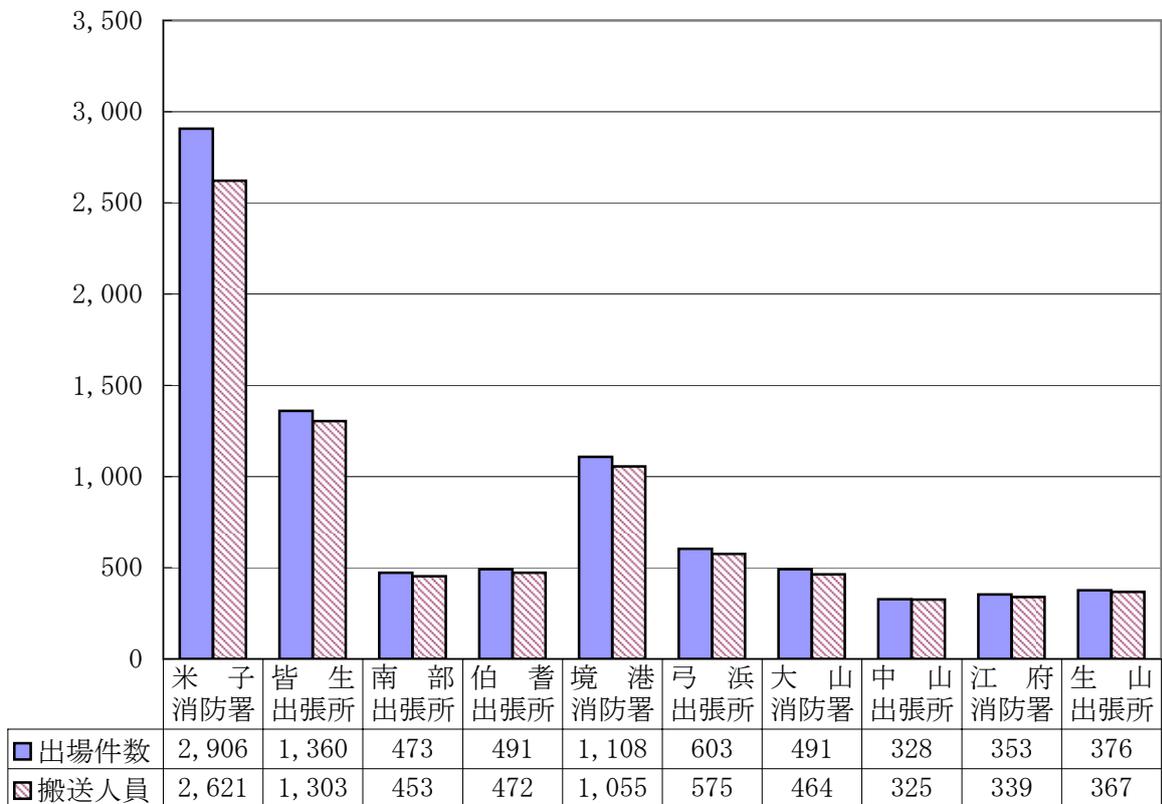
程 度	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
搬送人員	170	1,102	3,841	2,851	10	7,974

別図Ⅱ-6 年齢別搬送状況

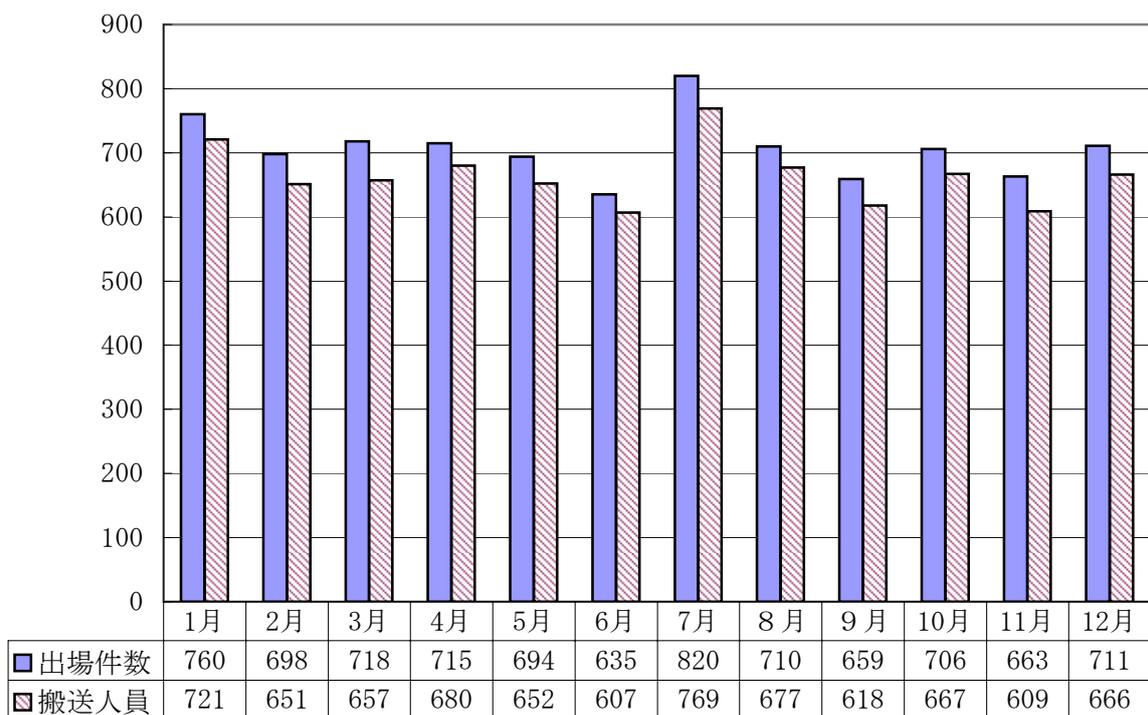


	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	合 計
搬送人員	24	304	320	2,868	4,458	7,974

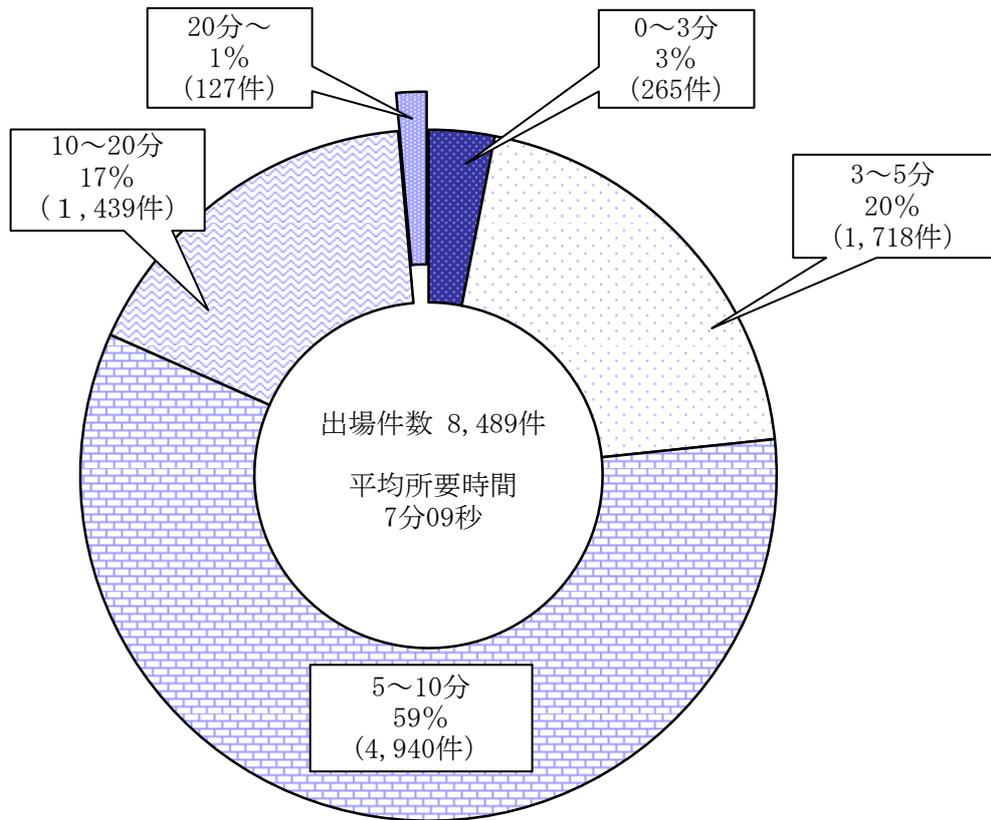
別図Ⅱ-7 署所別救急活動状況



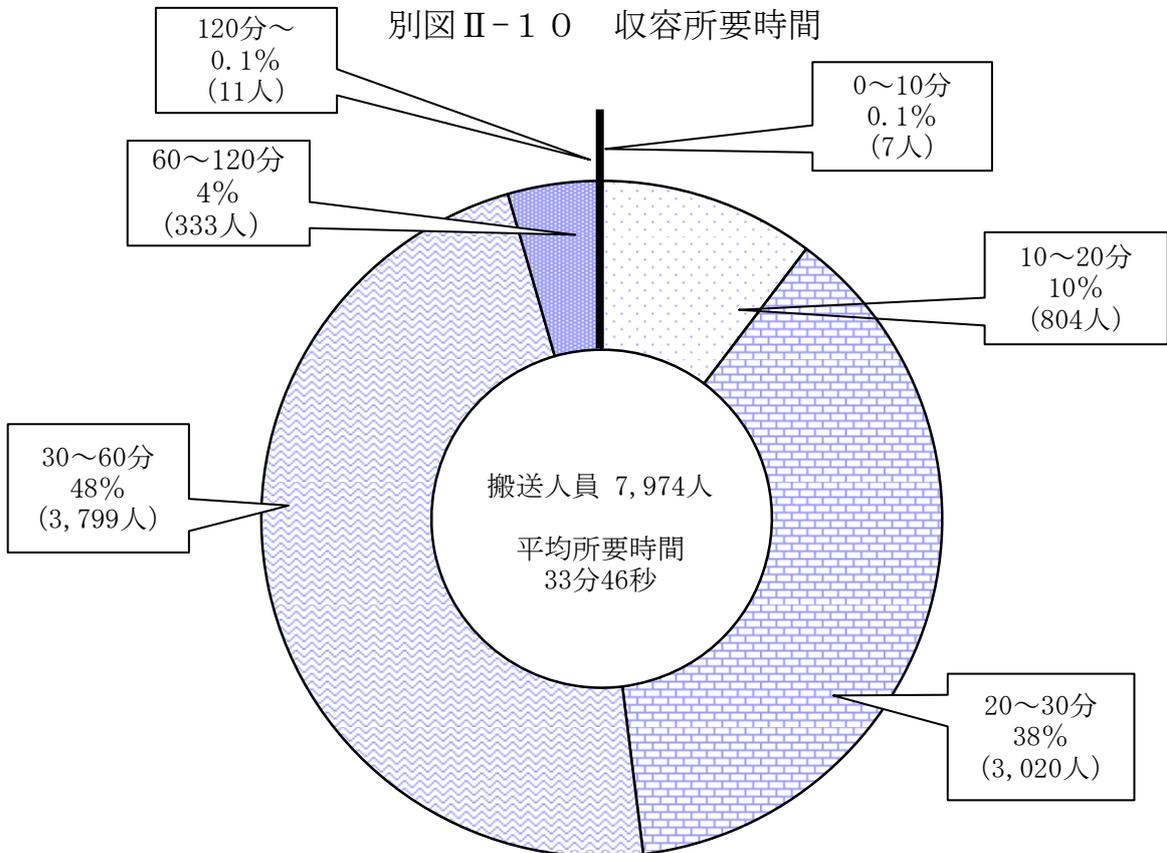
別図Ⅱ-8 月別救急活動状況



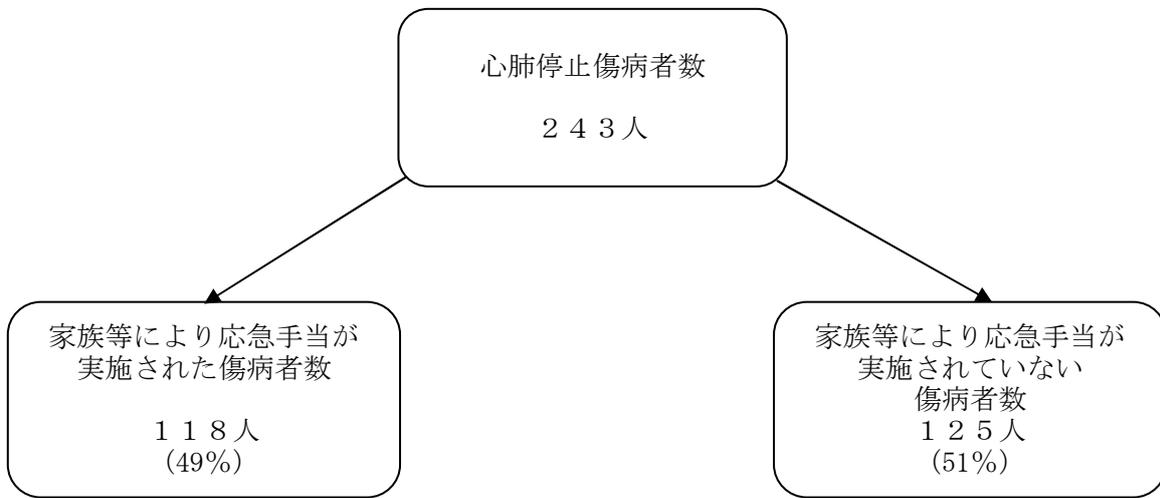
別図Ⅱ-9 現場到着所要時間



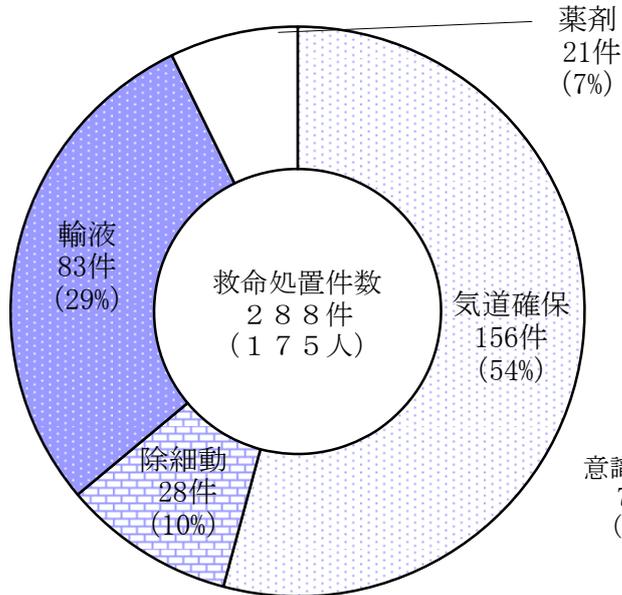
別図Ⅱ-10 収容所要時間



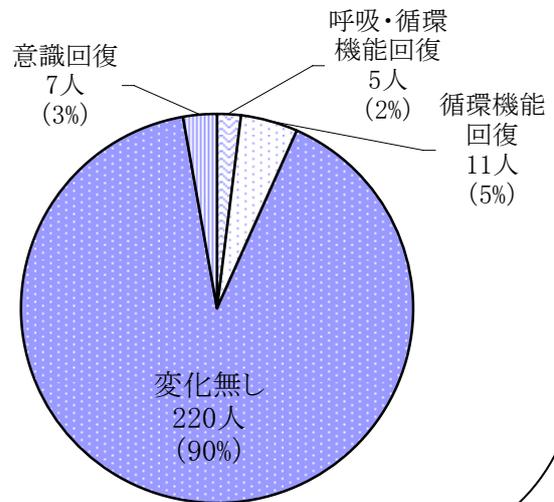
別図Ⅱ-1 1 応急手当実施状況



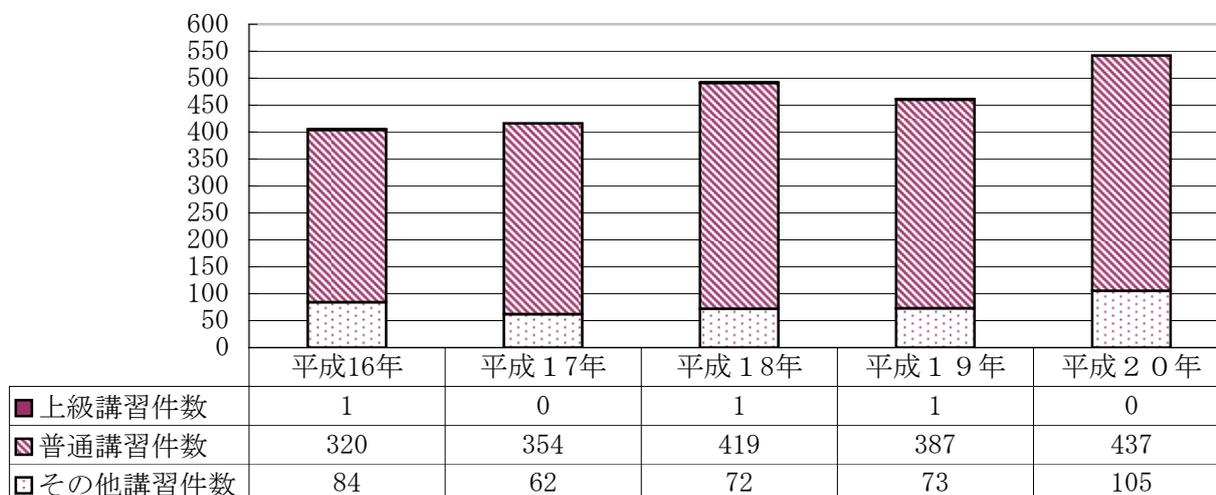
別図Ⅱ-1 2 高度救命処置状況



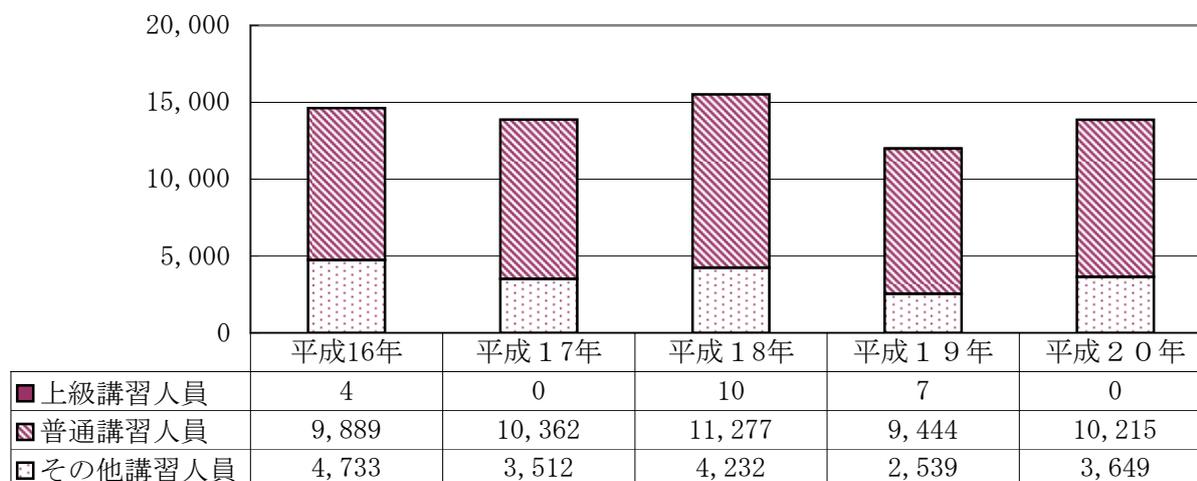
別図Ⅱ-1 3 医師引き継ぎ時の状況



別図Ⅱ－１３ 過去５年間の救急講習件数推移



別図Ⅱ－１４ 過去５年間の救急講習人員推移



別図Ⅱ－１５ 応急手当指導員・普及員の養成

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
応急手当指導員	24	0	0	11	16
応急手当普及員	0	33	12	0	21

Ⅲ 救助概況

(平成20年1月～12月)

1 事故種別救助出動状況

救助出動件数は163件あり、そのうち交通事故が78件(47.9%)、火災が58件(35.6%)、その他の事故が12件(7.4%)、水難事故が10件(6.1%)、建物等による事故が3件(1.8%)、機械による事故が2件(1.2%)の順となっています。

(別図Ⅲ—1参照)

2 事故種別救助活動状況

救助活動件数は126件あり、そのうち火災が58件(46.0%)、交通事故が48件(38.1%)、その他の事故が10件(7.9%)、水難事故が7件(5.6%)、建物等による事故3件(2.4%)の順となっています。

(別図Ⅲ—2参照)

3 事故種別救助人員状況

救助活動により救助された人員は81人あり、そのうち交通事故が54人(66.7%)と最も多く、次いでその他の事故が10人(12.3%)、水難事故が9人(11.1%)、火災等による事故が5人(6.2%)となっています。

(別図Ⅲ—3参照)

4 管轄別救助活動状況

消防署の管轄別に出動件数を見ると、米子消防署が86件(52.8%)と最も多く、次いで境港消防署が28件(17.2%)、江府消防署が25件(15.3%)、大山消防署が24件(14.7%)の順となっています。

(別図Ⅲ—4参照)

5 市町村別救助活動状況

市町村別に救助活動状況を比較して見ると、出動件数、活動件数、救助人員ともに、米子市が最も多く出動件数72件(44.2%)、次いで大山町が23件(14.1%)、境港市が21件(12.9%)、日南町が11件(6.7%)、伯耆町7件(4.3%)等の順となっており、他米子道、山陰道、管轄外へも出動しています。

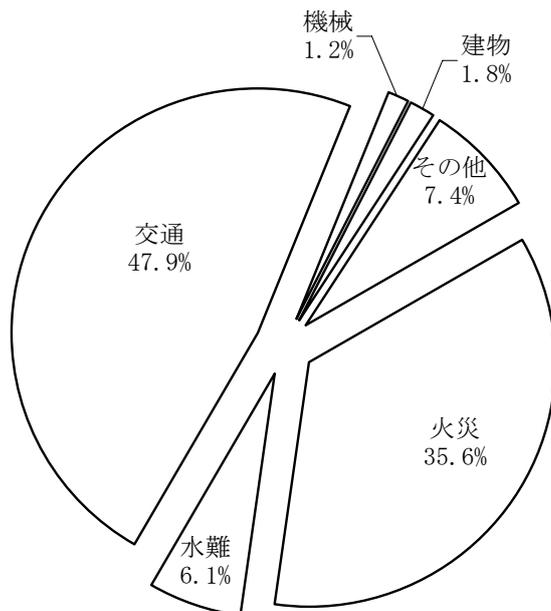
(別図Ⅲ—5参照)

6 月別救助活動状況

月別の救助出動件数を見ると、7月が23件(14.1%)と最も多く、次いで4月が21件(12.9%)、5月が16件(9.8%)、3月ならびに11月が15件(9.2%)、8月が14件(8.6%)等の順となっています。

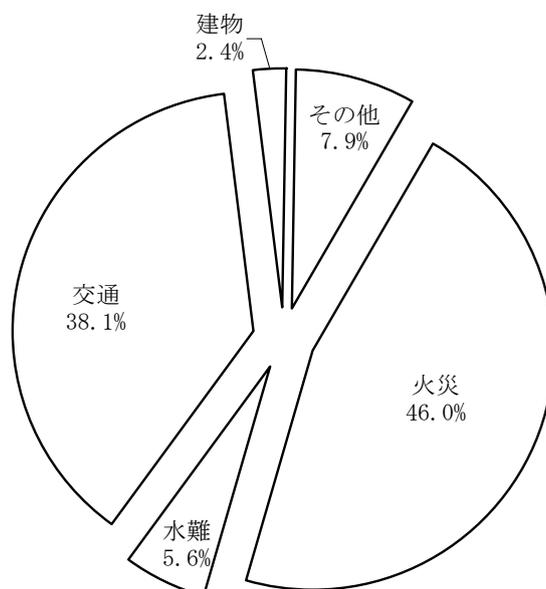
(別図Ⅲ—6参照)

別図Ⅲ-1 事故種別救助出動状況



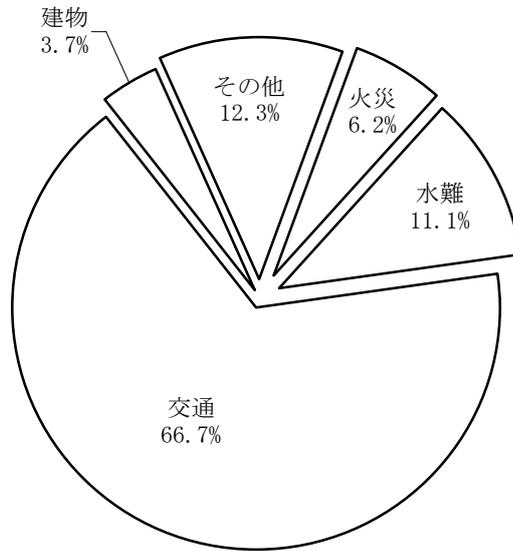
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
出場件数	58	10	78	0	2	3	0	0	12	163

別図Ⅲ-2 事故種別救助活動状況



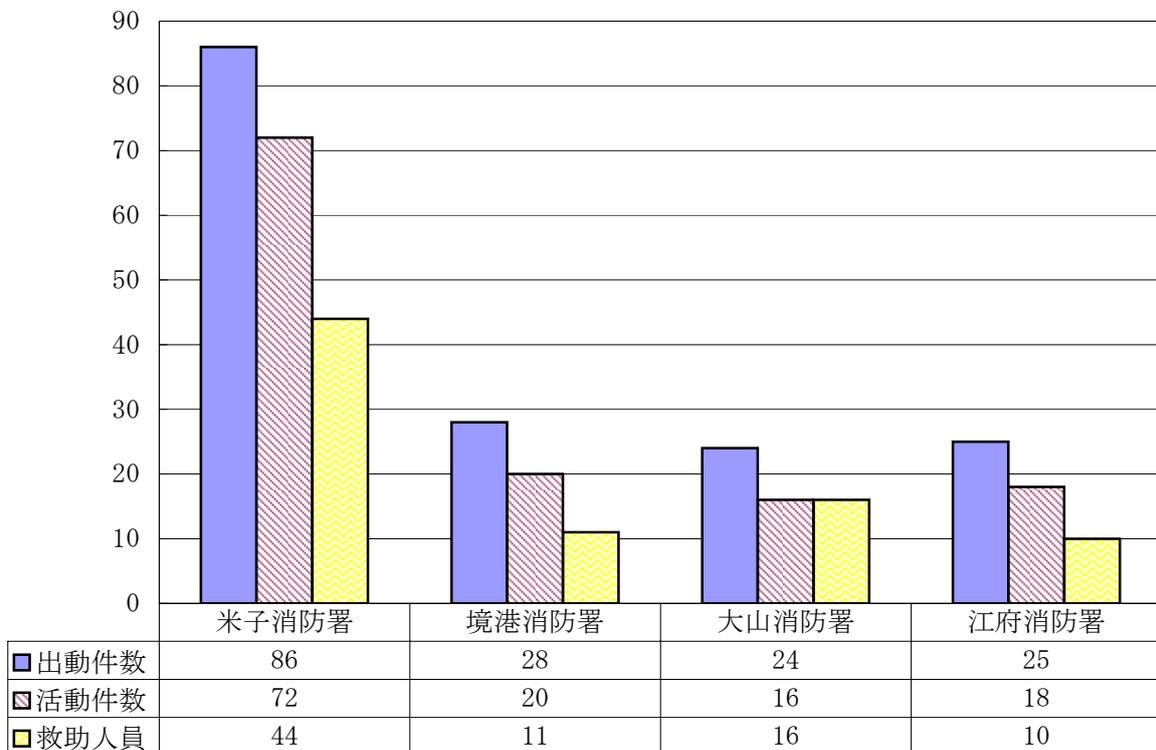
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
活動件数	58	7	48	0	0	3	0	0	10	126

別図Ⅲ-3 事故種別救助人員状況

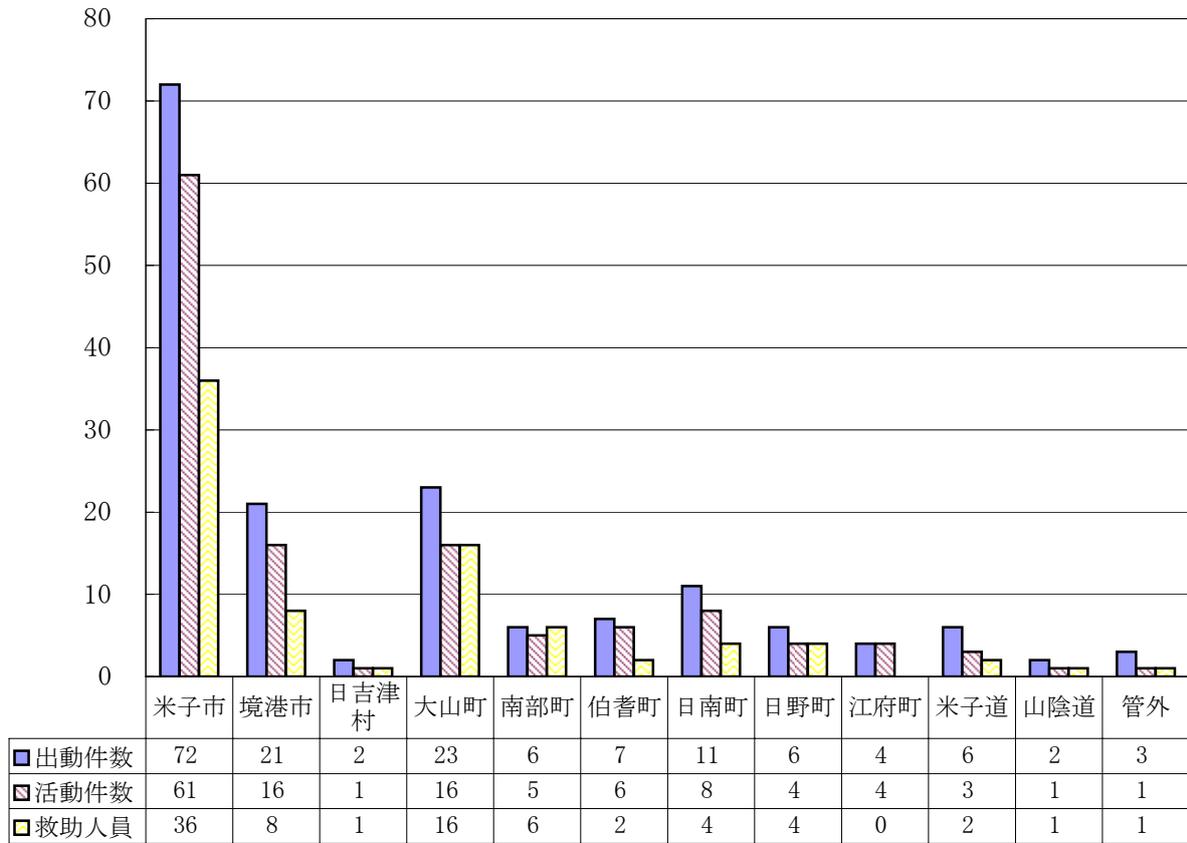


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
救助人員	5	9	54	0	0	3	0	0	10	81

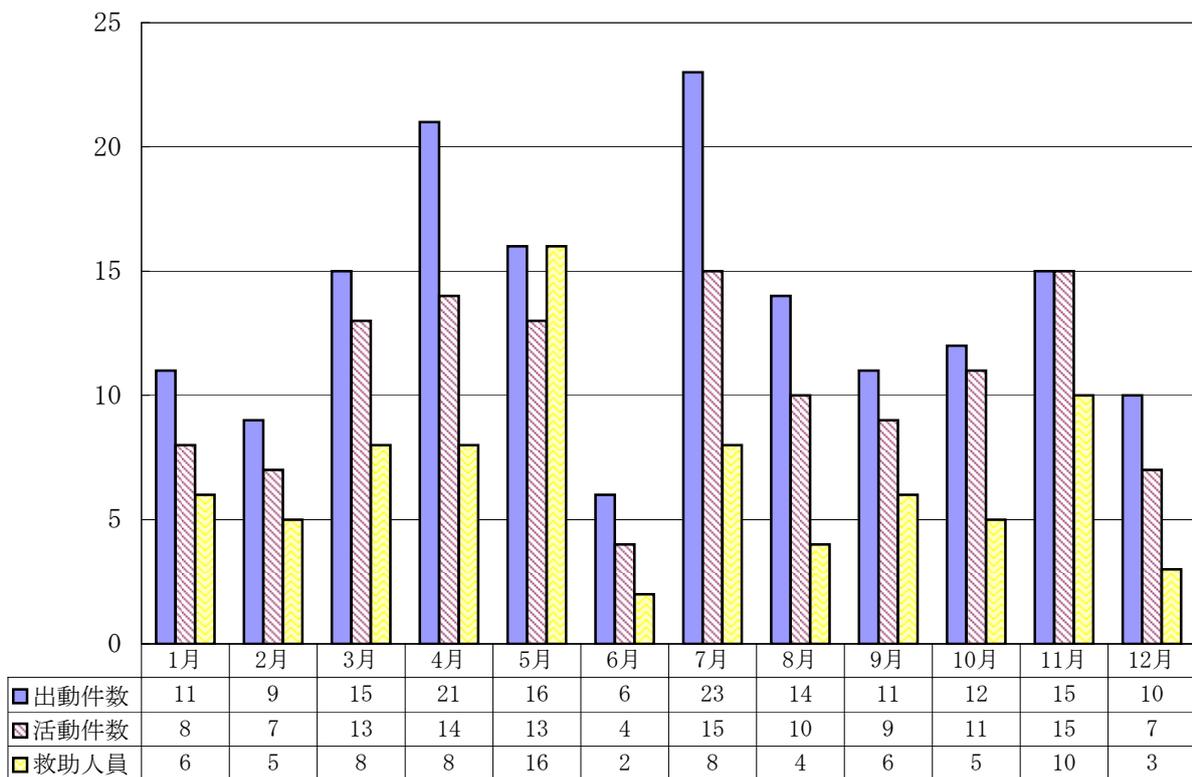
別図Ⅲ-4 管轄別救助活動状況



別図Ⅲ-5 市町村別救助活動状況



別図Ⅲ-6 月別救助活動状況



IV. 119番着信状況

(平成20年1月1日～12月31日)

1 概況

平成20年中の119番通報は、総着信件数で11,817件ありました。昨年に比べて346件(-2.8%)少なくなっています。1ヶ月平均では約985件、1日平均では約33件の着信となります。通報内容としては、救急通報が最も多く8,162件(69.1%)、火災通報は192件(1.6%)でした。そのほかの通報としては、間違いが877件(7.4%)、通報訓練などの通報が1,225件(10.4%)、休日・夜間などに病院に関する問い合わせ等が1,054件(8.9%)となっており、悪戯と思われるものも147件(1.2%)ありました。

(別表IV-1、別図IV-1参照)

2 月別の着信状況

月別での平均着信件数は、985件で、最も多かったのは7月の1,099件、最も少なかったのは2月の864件です。火災通報の月平均着信件数は16件で、最も多かったのは4月の39件、最も少なかったのは2月の3件でした。救急通報の月平均着信件数は約680件で、最も多かったのは7月の788件、最も少なかったのは6月の605件でした。

(別表IV-2、別図IV-2参照)

3 電話種別による通報状況

17年7月よりIP電話からの119番通報ができるようになりました。20年は927件(362件の増・+64.1%)あり増加傾向にあります。

災害別の通報状況として、通報が固定電話(IP電話含む)か携帯電話かの通報比率を新しく追加しました。(別図IV-5)

(別表IV-3、IV-4、IV-6、別図IV-3、IV-5参照)

4 携帯電話からの着信状況

携帯電話からの119番通報は3,174件で、全着信件数の26.9%でした。携帯電話で119番通報されますと、必ずしも電話をされた地区を管轄する消防本部に、接続されるとは限りません。管轄地区以外からの通報は、その地区を管轄する消防本部に電話を転送し対応してもらいます。またその逆もあります。これを転送処理件数として別表としています。他の消防本部への転送処理件数は37件あり、松江消防が22件と最も多く、次いで安来消防が10件、中部消防が3件となっています。

(別表IV-3、別表IV-5、別表IV-6、別図IV-3参照)

5 時間帯別119番通報の着信状況

時間帯別119番通報の着信件数は、活動時間帯（午前8時頃～午後9時）に大半を占めていて、睡眠時間帯（午後10時～午前6時）では午前5時まで時間の経過とともに件数が少なくなっています。

（別図IV-4参照）

別表IV-1 119番着信件数の推移

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	悪戯	間違い	訓練等	合計
平成16年	308	7,879	—	130	1,147	514	1,057	1,745	12,780
平成17年	401	8,554	—	140	1,137	259	962	1,635	13,088
平成18年	347	8,847	73	104	1,200	197	894	1,038	12,700
平成19年	222	8,488	71	106	1,063	100	927	1,186	12,163
平成20年	192	8,162	53	107	1,054	147	877	1,225	11,817

別表IV-2 月別119番着信状況

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	悪戯	間違い	訓練等	合計
1月	13	735	6	12	101	1	73	76	1,017
2月	3	659	2	5	64	8	57	66	864
3月	13	690	3	9	72	13	53	126	979
4月	39	697	10	7	96	12	65	69	995
5月	15	663	7	11	95	15	60	100	966
6月	9	605	2	13	77	21	65	133	925
7月	28	788	7	13	106	9	77	71	1,099
8月	23	688	5	6	129	10	78	46	985
9月	5	637	3	4	80	8	78	89	904
10月	19	676	1	9	67	11	92	145	1,020
11月	10	649	2	8	72	4	84	189	1,018
12月	15	675	5	10	95	35	95	115	1,045
合計	192	8,162	53	107	1,054	147	877	1,225	11,817
月平均	16	680	5	9	88	12	73	102	985

別表Ⅳ－３ 電話種別による１１９番着信件数の推移

	固定電話からの 着信件数	携帯電話からの 着信件数	I P電 話	合 計
平成１６年	９，４２５	３，３５５		１２，７８０
平成１７年	９，７６７	３，３２１	６７	１２，６４６
平成１８年	９，２５８	３，１３２	３１０	１２，７００
平成１９年	８，４８２	３，１１６	５６５	１２，１６３
平成２０年	７，７１６	３，１７４	９２７	１１，８１７

別表Ⅳ－４ 電話種別毎の通報状況

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	悪戯	間違い	訓練等	合計
１１９固定	８７	５，５２９	１６	３９	４８２	５６	４１３	１，０９４	７，７１６
１１９携帯	８４	１，９４９	３６	５７	４９９	６８	４０２	７９	３，１７４
１１９ I P	２１	６８４	１	１１	７３	２３	６２	５２	９２７
総合計	１９２	８，１６２	５３	１０７	１，０５４	１４７	８７７	１，２２５	１１，８１７

別表Ⅳ－５ 携帯電話からの着信状況

西部消防圏域内の災害などの着信件数			他の消防機関に 転送をした件数
直接通報を 受けた件数	他の消防機関から 転送受信した件数	総着信件数	３７
３，１５０	２４	３，１７４	

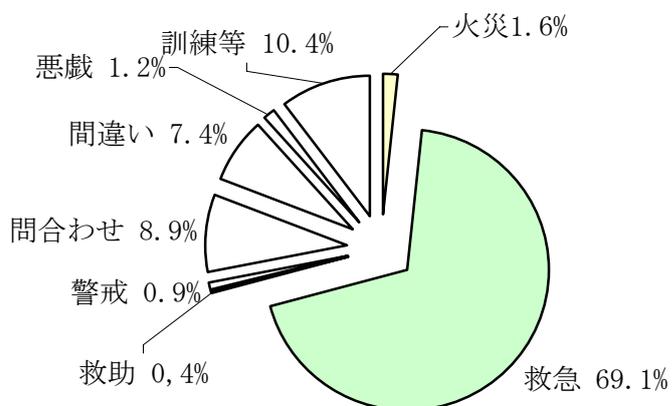
別表Ⅳ－ 6

携帯電話の消防機関別転送状況

他の消防機関から転送を受信した件数					他の消防機関に転送した件数				
消防	火災	救急	その他	合計	消防	火災	救急	その他	合計
松江		3	2	5	松江	2	20		22
安来		9	1	10	安来	1	9		10
雲南					雲南				
東部					東部				
中部		7		7	中部		3		3
新見		2		2	新見		2		2
真庭					真庭				
津山					津山				
備北					備北				
合計		21	3	24	合計	3	34		37

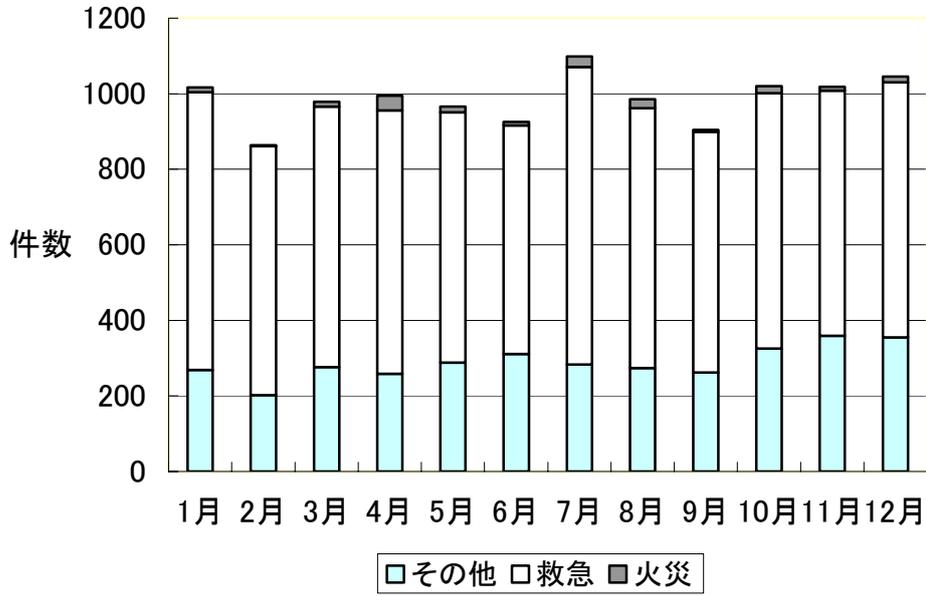
別図Ⅳ－ 1

通報内容別着信状況



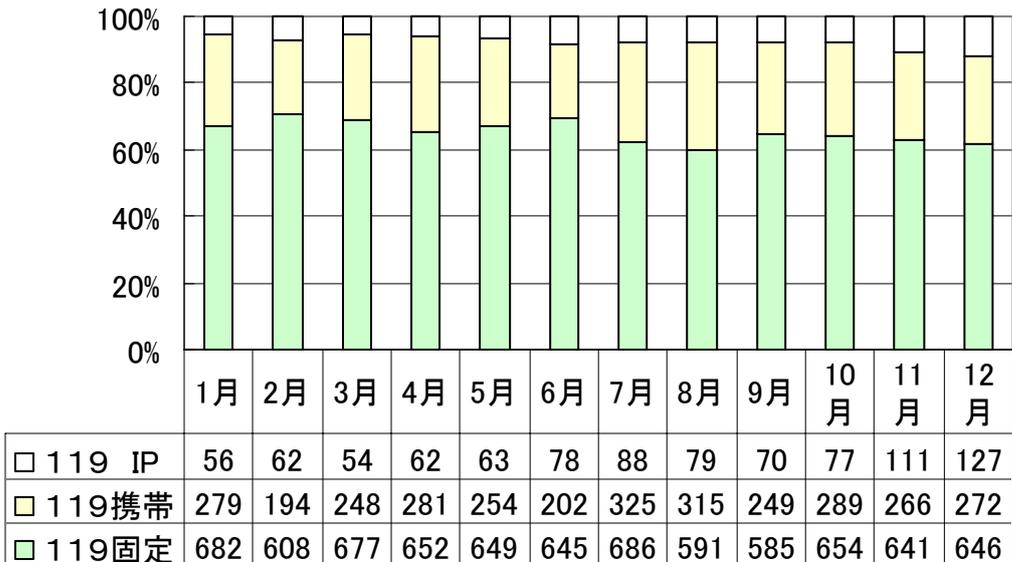
別図Ⅳ－ 2

月別着信状況



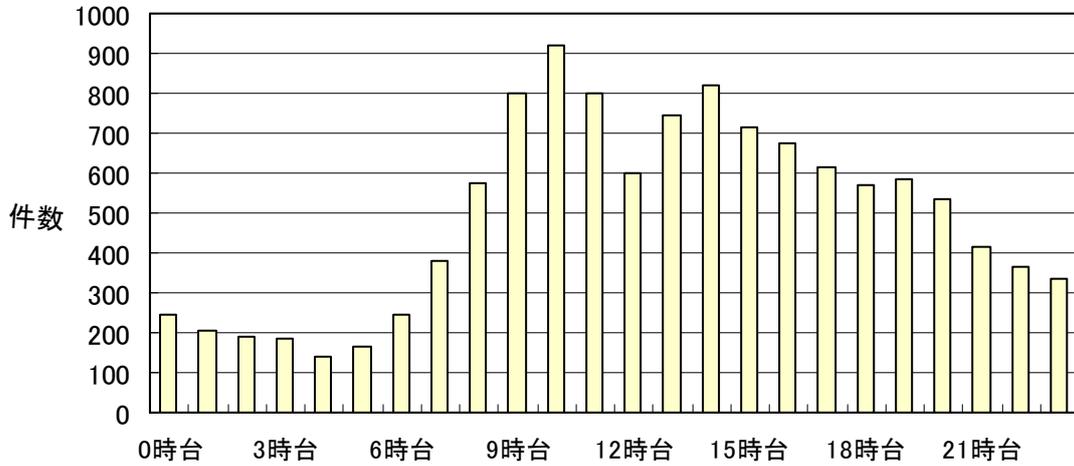
別図Ⅳ－ 3

電話種別毎の着信比率



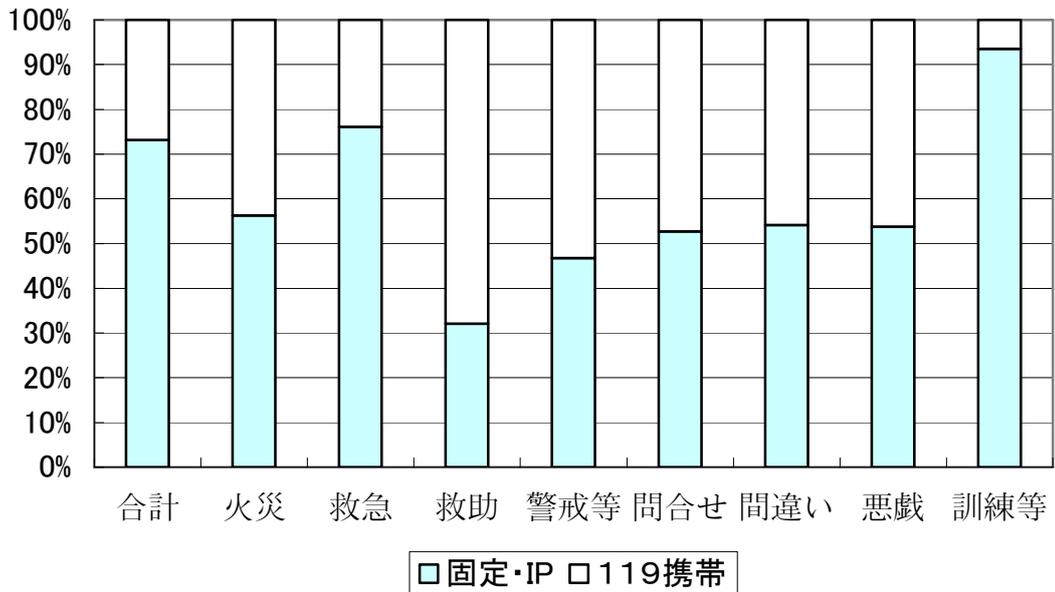
別図Ⅳ－４

時間帯別着信件数の推移



別図Ⅳ－５

電話種別による通報状況



火のしまっ 君がしなくて 誰がする

平成20年度全国統一防火標語

火災情報テレホンガイド 0859-22-0119

防火・救急に関するご相談・お問い合わせ

お気軽に最寄りの消防署へどうぞ

名 称	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
消 防 局	米子市両三柳5452番地	683-0853	0859-35-1951
米子消防署	米子市富士見町一丁目103番地1	683-0055	0859-39-0251
米子消防署皆生出張所	米子市皆生五丁目8番5号	683-0003	0859-39-0253
米子消防署南部出張所	西伯郡南部町清水川3番地1	683-0321	0859-39-6003
米子消防署伯耆出張所	西伯郡伯耆町溝口20番地4	689-4201	0859-39-9001
境港消防署	境港市中野町2116番地	684-0041	0859-47-0119
境港消防署弓浜出張所	米子市大篠津町2913番地1	683-0101	0859-48-2005
大山消防署	西伯郡大山町末吉403番地2	689-3331	0859-39-5002
大山消防署中山出張所	西伯郡大山町長野880番地3	689-3132	0858-49-3001
江府消防署	日野郡江府町武庫1390番地3	689-4411	0859-77-2001
江府消防署生山出張所	日野郡日南町生山349番地1	689-5211	0859-77-1001

※本概況に関するお問い合わせは下記にお願いします。

火災…………… 予防課予防係	0859-35-1954
救急救助…………… 警防課救急救助係	0859-35-1959
119番着信状況…指令課指令係	0859-35-1960

平成21年1月発行

〒683-0853 米子市両三柳5452番地

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

TEL 0859-35-1951(代)